

令和5年度進行管理・評価シート
高岡市歴史的風致維持向上計画(令和3年3月5日認定)
(最終変更令和6年3月29日)

口進捗評価シート(様式1)

- ①組織体制(様式1-1)(第3章関係)
 - 1 計画の実施と推進体制 1
- ②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)(第4章関係)
 - 1 都市計画法の活用 2
 - 2 景観計画の活用 3
 - 3 屋外広告物に関する規制 4
- ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)(第6章関係)
 - 1 高岡御車山保存修理事業 5
 - 2 菅笠保全対策事業 6
 - 3 次世代型ものづくり人材育成事業 7
 - 4 創業・事業承継支援補助事業 8
 - 5 文化財等修理補助事業 9
 - 6 ものづくり・デザイン科推進事業 10
 - 7 祭行事・イベント振興事業 11
 - 8 コミュニティ助成事業 12
 - 9 前田利長墓所整備事業 13
 - 10 市内町家等再生事業 14
 - 11 金屋鋳物師町交流館整備事業 15
 - 12 高岡城跡保存整備事業 16
 - 13 勝興寺公開活用事業 17
 - 14 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 18
 - 15 県道岡・笹川線道路整備事業 19
 - 16 勝興寺寺内町道路修景整備事業 20
 - 17 吉久地区道路修景整備事業 21
 - 18 町並み保存・都市景観形成補助事業 22
 - 19 「赤レンガ建物」利活用事業 23
 - 20 前田家関連史跡調査事業 24
 - 21 ミラレ金屋町開催事業 25
 - 22 獅子舞大競演会開催事業 26
 - 23 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業 27
 - 24 「高岡再発見」プログラム事業 28
 - 25 新たな芸術・文化創造推進事業 29
 - 26 日本遺産魅力発信推進事業 30
 - 27 「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する作品募集事業 31
 - 29 越中国府関連遺跡調査事業 32
 - 30 ストリート整備事業 33
 - 31 どこでもステージ事業 34
- ④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)(第5章関係)
 - 1 文化財の保存・活用の現況と今後の具体的な計画 35
 - 2 文化財の修理(整備)に関する具体的な計画 36
 - 3 文化財の保存・活用を行うための施設に関する具体的な計画 37
 - 4 文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画 38
 - 5 文化財の防災に関する具体的な計画 39
 - 6 文化財の普及・啓発に関する具体的な計画 40
 - 7 埋蔵文化財の取扱いに関する具体的な計画 41
 - 8 各種団体の状況及び今後の体制整備の具体的な計画 42
- ⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)
 - 1 効果・影響等に関する報道 43

- 口法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 44

評価軸① 組織体制		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
1 計画の実施と推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	高岡市歴史的風致維持向上計画の実施及び推進に係る連絡調整を行うため、法に基づき高岡市歴史まちづくり協議会を組織し協議する。また、歴史都市形成プロジェクトの推進及び計画に基づく施策・事業の進捗を図るための庁内組織として、副市長をトップとする「歴史まちづくり推進会議」を設置し協議する。その他、必要に応じて都市創造部次長をトップとし、関係部局の課長級職員で幹事会を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史まちづくりの推進や関連する取り組み状況の市民への周知方法、伝統工芸技術の保存継承対策等の各諸課題について検討した。 【定量的評価】 協議会1回開催、推進会議1回開催、幹事会1回開催 【定性的評価】 協議会を通して各専門分野の方々の意見を得られたので今後も本市の歴史的風致のより一層の向上に繋げられるように努めていく。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○高岡市歴史まちづくり協議会(書面開催) ○高岡市歴史まちづくり推進会議(書面開催) ○高岡市歴史まちづくり推進会議幹事会(書面開催)			
<p style="text-align: center;">歴史まちづくり計画の推進体制</p>			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
1 都市計画法の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

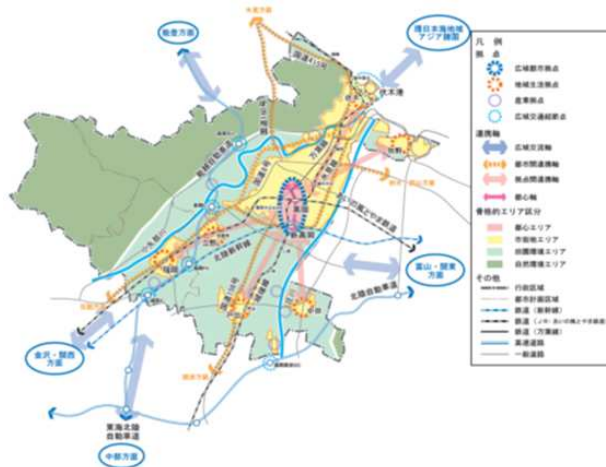
重点区域における景観計画の推進や市民意識の高揚に従い、より明確にかつ強制力のある景観形成を図る必要があると認める場合は、高度地区や景観地区等の活用も検討していく。
 重要伝統的建造物群保存地区において、修景基準及び許可基準を運用し、修理や現状維持、地区内での調和のとれた修景を図る。
 その他、風致地区に指定している5地区について、地区内の自然的景観を保全し、良好な市街地環境の維持を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

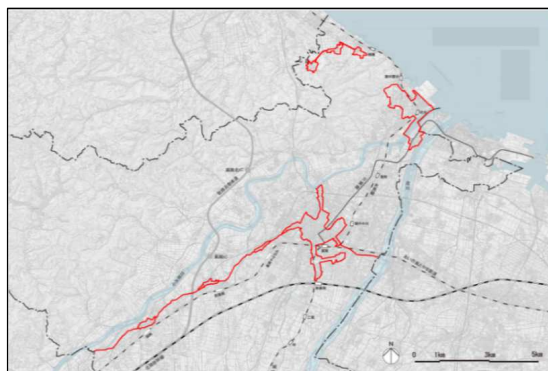
都市計画マスタープランでは都市づくりの基本方針の一つとして「歴史・文化と自然を活かした都市づくり」を掲げている。
 太田地区では、武田家住宅や国泰寺などの歴史資産を保全・活用する。伏木地区では、勝興寺などの文化財の保存修理事業、勝興寺寺内町旧参道における道路修景整備事業の推進や建築物の景観誘導への支援を進めるとともに、勝興寺風致地区の運用、景観計画に基づく規制誘導や屋外広告物の規制強化等も検討し、歴史的風致の維持・向上を図る。また、山町筋、金屋町、吉久地区瑞龍寺周辺、及び立野地区等の旧北陸道沿いにおいては、居住を維持・誘導するほか、町家や空き家・空き店舗を工房、店舗、ゲストハウスなどにリノベーションするなど、文化財の保全・活用を促進する。景観計画に基づく規制誘導や屋外広告物の規制強化等も検討し、歴史的風致の維持・向上を図る。
 都市計画マスタープランと併せて景観計画や屋外広告物の規制と連携して調和の取れた修景に取り組んでいる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



市全体の将来都市構造図



歴史まちづくり計画の重点区域

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
2 景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 重点区域のうち歴史的風致を形成している地区を景観形成重点地区に指定する。また、市全域に適用している景観形成基準について、色彩基準(マンセル値設定)を新設し、併せて景観法に基づく届出対象行為を拡大し、周辺環境との調和を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観法に基づく届出件数

令和3年度: 57件

令和4年度: 45件

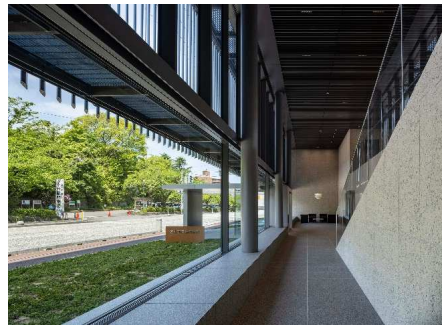
令和5年度: 25件(令和6年3月末時点)

届出対象行為の拡大により、一定の届出件数がある。

届出行為に対する景観誘導の指導・助言によって、景観計画の周知とともに、地域に合わせた周辺環境との調和が図られるなど良好な景観形成につながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



富山新聞高岡会館(撮影 小川重雄)

景観計画に基づき、古城公園の緑豊かな景観と調和した意匠とした事例

評価軸②-3 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
3 屋外広告物に関する規制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	富山県屋外広告物条例に抵触する違反屋外広告物の是正指導等、適正化の徹底を図るとともに、高岡市条例の制定について検討していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
富山県屋外広告物条例の改正に伴い既存不適格となった屋外広告物の是正に対して、条例の趣旨説明や是正に向けた働きかけを行ったほか、違反広告物の是正を図っている。 ・既存不適格是正実績(直近3年) 令和3年度:10件、 令和4年度:10件、 令和5年度:4件(令和6年3月末時点) 既存不適格の屋外広告物の是正により、歴史的な町並みの保全及び良好な景観の形成につながっている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	目標値に達していないが、既存不適格広告物の是正が順調に進んでいる。是正が完了していない企業に対しては、引き続き、是正計画書を提出させる等して是正指導の強化を図りたい。		
状況を示す写真や資料等			
既存不適格広告物の是正事例 (屋上広告の除却)			
			
是正前		是正後	

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
1 高岡御車山保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成17年度～令和12年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(重要有形民俗文化財修理・防災事業費国庫補助)
計画に記載している内容	重要有形・無形民俗文化財「高岡御車山」の山車に経年劣化や損傷がみられることから、順次修理を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

定性的評価: 重要有形・無形民俗文化財「高岡御車山」の修理によって後世への継承や地域の独自性の向上等に寄与した。

令和5年度

- ①通町御車山鉾留の修理…取り付け部分の金属板による補強、部分的な破損を修理。
- ②一番街通御車山鉾留の修理…釣鐘内部の破損木材取替、外部装飾の破損修理。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【通町】鉾留修理



羽根の取り付け部、金属板での補強



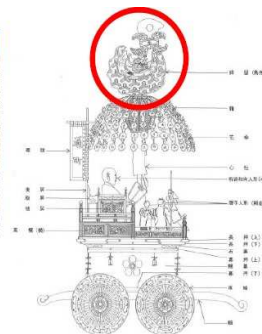
【修理前】

羽の部分的な破損

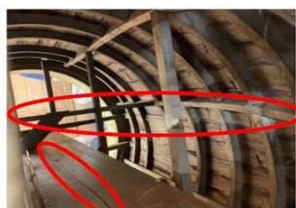
欠損箇所は、コクソで修復し、形状復元は完了
金箔、箔止めと仕上げも終え、概ねの修理は完了した。



【修理後】



【一番街通】鉾留修理



【修理前】

(釣鐘の内部)木部材の破損部位を取り換え

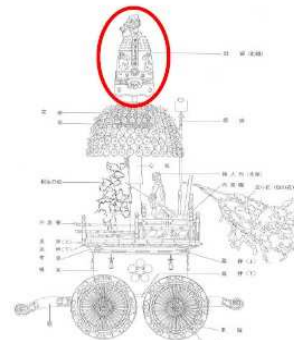


【修理後】



(龍頭)破損を修理(欠損箇所はコクソで成形)

【修理後】



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
2 菅笠保全対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業
計画に記載している内容	重要無形民俗文化財である越中福岡の菅笠製作技術は、製作技術者や菅生産量が減少の一途をたどっていることから、製作技術の維持・存続に向けて菅保全対策事業を実施するもの。 菅笠づくりの後継者育成指導や研修、菅田保全のための調査等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高岡市支援実績
 ・菅笠製作技術後継者育成(技術習得のため育成活動団体と協力して実施)
 ・菅笠展示・実演(イベントでの周知普及の実施及び団体への支援)
 ・菅笠保全活動団体との連携事業(体験講座の実施及び団体への支援)
 ・菅田保全のための調査(菅田の現況把握等)
 ⇒年々減少傾向にある。データを蓄積するため、調査を継続していきたい。
 現状維持を目標としてスゲ生産組合等とも連携し対策していきたい。
 ・ブランド化等事業(新しい菅笠の提案等実施団体への支援)
 ⇒高岡民芸(株)が開発した菅笠ペーパーを周知普及事業に活用

No.	活動内容	R4		R5		実施団体
		回数	参加者数	回数	参加者数	
1	菅笠講座(笠骨)	20回	7名	20回	10名	H30～高岡市
2	菅笠講座(笠縫)	20回	10名	20回	20名	H30～高岡市
3	体験講座	8回	192名	8回	86名	H30～高岡市・越中福岡の菅笠製作技術保存会

菅田面積の推移 単位：a (越中福岡の菅笠製作技術保存会調べ)

R1	R2	R3	R4	R5
40.42	36.4	3242	30.42	25

上記支援や活動によって、越中福岡の菅笠製作技術の後継者育成・周知については、今後も計画を継続すれば、一定の維持はできる見込みであるが、菅田減少による菅生産量の減少に歯止めがかかっていない状況であるので、農業団体等との連携や作業量と費用の少ない効率的な菅栽培技術の確立等が必要となる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	(課題)⇒高齢化による技術保持者の減少(対応策)⇒後継者育成講座の充実 (課題)⇒資材高騰、高齢化による菅田の減少(対応策)⇒農業団体等との連携

状況を示す写真や資料等

後継者育成講座(笠骨・笠縫)



菅田調査



菅笠づくり体験



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
3 次世代型ものづくり人材育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和2年度～令和12年度(【金工】彫金コース、彫金研究コース、【漆工】塗りコース、加飾コース、研究課題コース) 令和元年度～令和12年度(【金工】鑄造コース※令和元年度のみ鑄造基礎・研究コース、【漆工】きゅう漆コース) 平成30年度～令和12年度(精密鑄造コース)※令和4年度から休止 平成26年度～令和12年度(3D造形コース)
------	--

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	伝統工芸産業に関わる人材に対して、伝統的工芸技術から最先端の3D技術を活用した幅広い技術習得を目的としたスクール事業を実施する。金工、漆工に関わる伝統工芸技術(彫金、鑄造、塗り、青貝、蒔絵など)及び3Dプリンターによる立体造形技術の習得を目指す。伝統技術と先端技術の融合による新たな人材育成につなげることで、新商品・新技術の開発の活性化に結び付け、伝統工芸産業の高度化を図る。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度は全6コースにおいて計29名の受講生10名の講師・助手による指導のもと技術習得に励んだ。昭和43年から実施しており、平成29年度末に50周年を迎えた。高岡市の伝統工芸産業である銅器・漆器について、高岡市伝統工芸産業技術保持者、伝統工芸士などを講師に迎え、工芸品制作に必要な材料、技術に関わる実践的内容を中心に産地の技術力向上、人材育成を目的として実施している。土曜日の漆工コースについては高岡地域地場産業センターZIBA40周年記念共催事業として「高岡漆器探究 1Dayツアー」企画し、広報等を通じて広く一般市民に参加を呼びかけ、高岡漆器の歴史や製造から販売に至るまでの産業を学んだほか、漆を使用した実技講習に取り組んだ。3Dコースについては前掲の1Dayツアーの開催や職員配置の観点から実施を見送った。

<内容>

【木曜夜間 午後6～9時】 ・金工：彫金コース、彫金研究コース(年26回)
 ・漆工：塗りコース、加飾コース、漆工研究コース(R3年度まで課題研究コース、年26回)

【第2・4土曜 午後1～5時(一部午前中から実施)】 ・金工：鑄造コース(年15回)
 ※平成12年度から実施、R5年度の漆工コースについては「高岡漆器探究 1Dayツアー」を実施。

<実績> 受講生 計29名：令和5年度(第28期後期)

- ・金工：彫金コース 6名 ・彫金研究コース 3名 鑄造コース 10名
- ・漆工：塗りコース 6名 ・加飾コース 1名 課題研究コース 3名

※「高岡漆器探究 1Dayツアー」については定員の7名で実施(申込みは22名)。

<成果>

- (1) 修了生一延べ 1,212名(昭和43年～令和5年度末)
- (2) 伝統工芸作家、クラフトマン、また産業界の中堅技術者を多数輩出している。第一期生には人間国宝 大澤光民氏が修了している。
- (3) 受講生の4割弱程度が伝統工芸産業の従事者であり、業界の人材育成を図っている。
- (4) 高岡地域地場産業センター(ZIBA)や伝統工芸高岡漆器協同組合との共催事業を実施し、市民の皆様にも普段見ることのできない漆器業界の様子や現場をお伝えすることができた。定員を大幅に上回る申込があったことから、ニーズがあることがわかった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

金工



彫金コース



彫金研究コース



鑄造コース

<参考> 高岡漆器探究 1Dayツアー



漆工



塗りコース



加飾コース



課題研究コース



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
4 創業・事業承継支援補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	高岡市内の中小企業者の創業及び事業承継による新たな取り組みを支援し、もって本市ものづくり産業の持続的成長を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

ものづくりに関連する業種で創業・事業承継する中小企業又は創業・第二創業・事業承継から3年未満の中小企業で新たな取り組みを実施する者に対して店舗等の改装費、設備費、原材料費などの費用の2分の1以内、更に市内への移住希望者、移住後3か月以上1年未満の移住者、女性又は40歳未満の若手事業者については3分の2以内で補助金を交付する(いずれも上限は50万円)。令和5年度採択件数:4件(うち人材育成事業:1件)、相談件数:12件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	当該事業については今年度も、より広い範囲でものづくり分野に対し支援を実施した。また、今年度より経営後継者育成等に関する研修等の人材育成に対して新たに支援を開始した。今後も、支援対象者のニーズを把握しつつ、効果的な支援策の実施に取り組む。

状況を示す写真や資料等

R5採択事業の「螺細ワークショップ用ワークスペースおよび展示スペースの改修事業」(㈱武蔵川工房)



改修後展示スペース



改修後ワークスペース



作業風景

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
5 文化財等修理補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成20年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	高岡地域文化財等修理協会に補助し、事務局である(公財)高岡地域地場産業センターと連携を取りながら、高岡御車山をはじめとする文化財の保存修理を図るとともに、高岡伝統技術の次世代への継承を図るもの。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

職人技の伝承資料を作成し、これらの記録、資料作成等を実施しているほか、人材育成事業(視察、研修会への参加)を行うことによつて、伝統技術の承継に寄与している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	修理業務が多い年と少ない年がある。そのため、引き続き記録や資料を作成することによって、技術継承を可能にしていきたい。

状況を示す写真や資料等

研修会を開催



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
6 ものづくり・デザイン科推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成18年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容
 本市の伝統的工芸品である高岡漆器、高岡銅器等を中心に地元の優れた産業について、体験を通じた学習を行う。
 高岡市立学校の小学5年生・6年生、中学1年生を対象に、小学5年生は年間20時間、小学6年生・中学1年生は年間25時間の授業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和5年度は、小学6年生、中学1年生で青貝塗りの角トレーや丸皿、錫のフォトフレームや小物等の制作に取り組んでいる。小学5年生は、大学、市デザイン工芸センター、美術館、伝統工芸師等の地域人材を招聘し、デザイン学習に取り組んでいる。
 ・高岡市の伝統工芸や地域の産業について、見る、触れる、体験することにより、豊かな感性と郷土を愛する心を育てることにつながっている。
 ・令和5年度の事業に関するアンケート調査では、楽しんで学習をしている児童生徒が96%、教育的効果があるとする保護者が97%となっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) ・昨年度同様、4月より実習を進める。
-------------------------------	--

状況を示す写真や資料等



5年デザイン学習



6年鋳物実習



児童生徒の作品展示
 (令和5年度「クリエイティブ・たかおか」にて
 (会場 高岡市美術館)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
7 祭行事・イベント振興事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	高岡御車山祭、伏木曳山祭、二上射水神社築山行事、八丁道おもしろ市、御印祭へ補助する
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度は以下の祭行事・イベントへの補助を行った。
 高岡の歴史的風致の重要な要素となる祭礼等を支援することにより、伝統文化の保存・継承につなげることができた。

- ・高岡御車山祭(令和5年5月1日開催)
- ・伏木曳山祭(令和5年5月20日開催)
- ・二上射水神社築山行事(令和5年4月23日開催)
- ・八丁道おもしろ市(令和5年5月21日、10月15日開催)
- ・御印祭(令和5年6月20日)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



高岡御車山祭



伏木曳山祭



二上射水神社築山行事



八丁道おもしろ市



御印祭

評価軸③-8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
8 コミュニティ助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	コミュニティ助成事業		
計画に記載している内容	必要に応じて学識経験者等の助言を得ながら、地域の祭礼・年中行事などの地域文化への支援やコミュニティ活動等に対して助成を行い、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地域固有の祭礼・年中行事は本市の歴史的風致を構成する重要な要素のひとつである。 祭道具の修理・購入等への支援を行うことで、地域祭礼行事が継承されていくとともに、本市の魅力がより一層高まると期待できることから、市内全域の歴史的風致の維持及び向上につながっている。 令和5年度助成: 1団体 令和4年度助成: 0団体(申請なし) 令和3年度助成: 5団体			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
袴(上着)		袴(袴)	
			
紫染旗		雪駄	
			

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
9 前田利長墓所整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～令和12年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業費国庫補助)

計画に記載している内容	国指定史跡前田利長墓所について、保存管理計画及び整備基本計画に基づく復原修理事業を実施する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

定性的評価: 保存管理計画及び整備基本計画に基づく復原修理事業によって国指定史跡前田利長墓所の魅力向上に寄与する。

R5年9月 玉垣清掃実施
 R5年9月 草刈り実施
 R5年9月～R6年3月 外堀転落防止柵修繕実施

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等

令和5年度実施実績



墓所正面玉垣清掃作業風景



墓所外区草刈り実施風景



修繕前



修繕後

外堀転落防止柵修繕

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
10 市内町家等再生事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～令和12年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
計画に記載している内容	登録有形文化財をはじめとする市内の町家に経年劣化や損傷が見られることから、歴史的風致形成建造物に指定し、その修理に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町家等の文化財的価値の向上を図り、歴史的風致の維持・向上に寄与している。

- H24年度 若井家住宅、高岡商工会議所伏木支所
- H25年度 佐野家住宅、丸谷家住宅主屋・土蔵
- H26年度 有藤家
- H27年度 大手町神明社拝殿 ※高岡市指定文化財
- H28年度 五福町神明社本殿 ※高岡市指定文化財
- H29年度 佐野家住宅
- 令和4年度は補助実績なし
- 令和5年度 若井家主屋(旧中越銀行)※雨漏り、土蔵壁面修理

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

過去の修理実績

R5年度



若井家主屋(旧中越銀行)

H25年度・H29年度



佐野家住宅(主屋・茶室・1番の蔵・2番の蔵・調度蔵・味噌蔵・防火壁)

H25年度





丸谷家住宅主屋・土蔵
(旧津野家住宅)

H26年度



有藤家住宅

評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
11 金屋鑄物師町交流館整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和13年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	金屋町において鑄物師町交流館を整備し、伝統的建造物群保存地区の景観を向上させるとともに、地区内の鑄物関係者をはじめとした様々な人が交流することで、高岡の伝統的な鑄物技術の継承と地域の活性化を推進していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度	整備計画の策定		
平成29～30年度	建設用地取得、設計		
令和元年度～2年度	建設工事(研修棟)※R2.9.18供用開始		
令和5年度	整備計画の変更(工房棟建設予定地を駐車場に変更)		
研修棟利用実績	R2年度:4件 R3年度:9件 R4年度:7件 R5年度:2件		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画策定時点から本市の財政状況や公共施設を取り巻く状況が変化しており、周辺類似施設との機能やバランスを踏まえ、地元と協議を重ねた結果、工房棟の建設を取りやめ駐車場の整備をすることとした。		
状況を示す写真や資料等			
			
研修棟外観		研修棟内部	
			
③は、当初工房棟を建設する計画であったが、 ①研修棟、②交流展示棟利用者の駐車場として整備する計画に変更予定 ①と③の間の市道拡幅についても一体的な整備を予定			

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
12 高岡城跡保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(埋蔵文化財緊急調査費国庫補助)		
計画に記載している内容	史跡の高岡城跡について、保存活用計画及び整備基本計画に基づく保存整備事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
定性的評価: 史跡「高岡城跡」の保存整備によって景観改善等に寄与した。			
令和5年度 ①富山県森林サポーターと協働での樹木管理 ②旧高岡市民会館解体に伴う二の丸の範囲確認調査 ③高岡城跡リーフレットを活用したイベントを実施			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
旧高岡市民会館解体工事に伴う工事立会		高岡城跡リーフレットを活用したイベントの様子	
			
旧高岡市民会館解体工事に伴う範囲確認調査			
			

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
13 勝興寺公開活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(観光拠点整備事業費(文化観光充実のための国指定等文化財磨き上げ事業)国庫補助)
文化財保存整備費補助金(富山県補助金)

計画に記載している内容 重要文化財勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理が完了し、今後、富山県指定文化財勝興寺宝物修理を進めるほか、インバウンド対応等に向けた情報コンテンツ整備を図るもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

定性的評価: 国宝指定記念事業の開催や県指定工芸品の修理等によって国宝勝興寺の魅力発信に寄与した。
令和5年度事業内容
 ①県指定工芸品修理事業(蓮如上人六字名号)
 ②勝興寺国宝指定書伝達式及び記念講演
 ③勝興寺国宝指定記念シンポジウム
 ④勝興寺国宝指定記念企画展
 ⑤勝興寺国宝指定記念写真集撮影
 ⑥地域資料調査、パンフレット刷新

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



国宝指定記念勝興寺企画展
重要文化財：洛中洛外図屏風展示



「勝興寺国宝指定記念シンポジウム」



国宝指定書伝達式



勝興寺国宝指定記念写真集撮影状況

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
14 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成13年度～令和12年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(重要伝統的建造物群保存地区保存等事業費国庫補助)

計画に記載している内容	山町筋伝統的建造物群保存地区及び金屋町伝統的建造物群保存地区、吉久伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施する
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

定性的評価: 重要伝統的建造物群保存地区の修理・修景によって歴史的な町並みの保全に寄与した。

令和5年度
 ①【金屋町地区】鋳物資料館第二展示室修景工事
 ②【金屋町地区】最勝寺経蔵修理工事(K-0047)
 ③【吉久地区】大谷家主屋修理工事(Y-0031)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等



①【金屋町地区】鋳物資料館修景工事着事前



①【金屋町地区】鋳物資料館修景工事完了後



④【吉久地区】大谷家主屋着事前



⑤【吉久地区】大谷家主屋工事完了後

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況

15 県道岡・笹川線道路整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------	---

事業期間	平成26年度～令和12年度
------	---------------

支援事業名	都市構造再編集集中支援事業補助、県単独事業、市単独事業
-------	-----------------------------

計画に記載している内容	県道岡・笹川線の(都)中央線区間において、カラー舗装や側溝敷設替などの修景整備を行う。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・関係機関との協議・調整を行いながら、全長880mの修景整備を実施するものである。

・定性的評価(実施内容)

平成29年度 測量設計業務委託を実施
 平成30年度 関係機関との協議・調整を実施
 令和元年度 市:電柱の修景化を実施(6箇所)
 県:側溝改修工事(100m)と消雪配管リフレッシュ工事(修景化工事)(110m)を実施
 令和2年度 市:電柱(8箇所)と照明施設(4箇所)の修景化を実施
 県:消雪配管リフレッシュ工事(修景化工事)(331m)を実施
 側溝改修工事(150m)を実施
 令和3年度 市:電柱(2箇所)と照明施設(4箇所)の修景化を実施
 県:消雪配管リフレッシュ工事(修景化工事)(150m)と舗装工事(250m)を実施
 令和4年度 市:電柱(4箇所)と照明施設(3箇所)の修景化を実施
 県:消雪配管リフレッシュ工事(修景化工事)(298m)と側溝改修工事(83m)を実施
 令和5年度 市:電柱(4箇所)と照明施設(3箇所)の修景化を実施
 県:舗装工事(556m²)を実施

・当該事業によって、道路景観の改善が図られるとともに、歴史に触れながら安心して散策できる快適な歩行空間の創出にもつながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

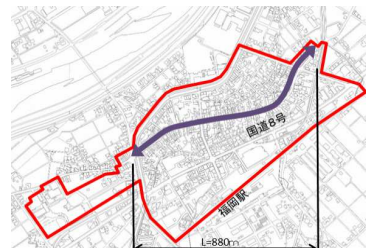
状況を示す写真や資料等



旧北陸街道福岡地区の町並み



工事後(電柱、側溝、消雪管、舗装)の状況



事業箇所図

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
16 勝興寺寺内町道路修景整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成29年度～令和12年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)

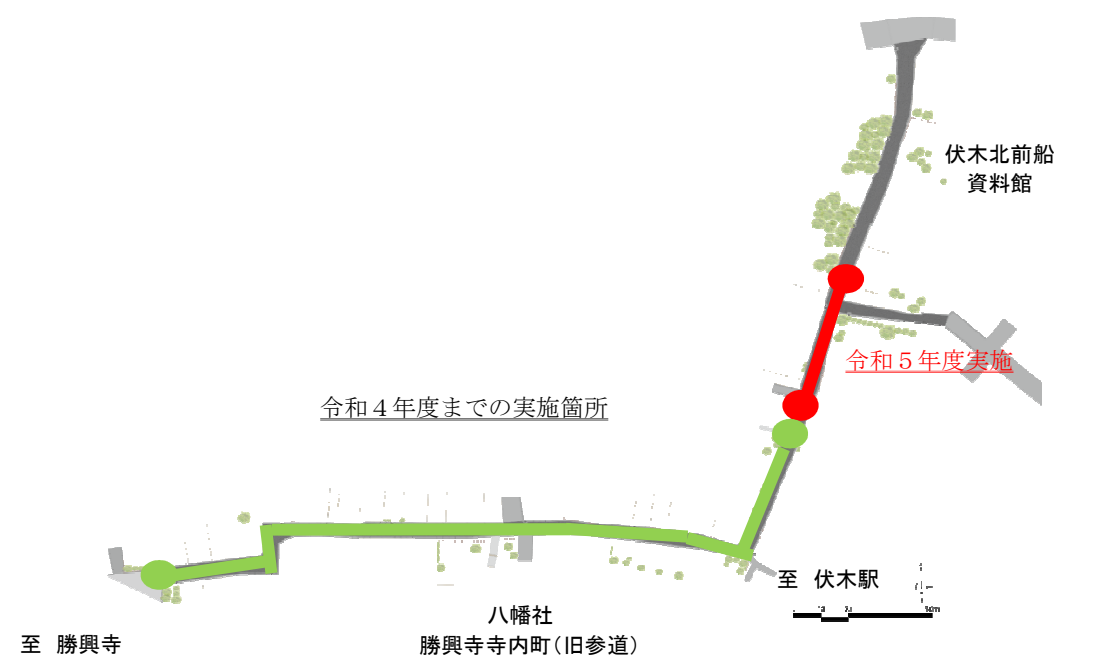
計画に記載している内容	伏木地区ストリート構想に則し、旧参道を中心とした道路修景整備を行う。
-------------	------------------------------------

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

《平成29年度》
 基本計画作成にあたり地元住民の意見を参考にするため、まち歩きやワークショップを開催した。
 ・まち歩き・第1回ワークショップ(平成29年9月24日開催) ・第2回ワークショップ(平成29年10月29日開催)
 《平成30年度》
 実施設計のため現地測量や関係機関との協議を実施した。
 《令和元年度》
 ・修景整備内容について住民説明会を開催(令和元年7月18日開催)
 ・電柱移設(カラーポール化)5本 ・照明設置(電柱共架)5基
 ・第1回高岡市新規デザインマンホール蓋検討委員会(デザイン方針決定 — 令和元年8月28日開催)
 ・第2回高岡市新規デザインマンホール蓋検討委員会(デザイン決定 — 令和2年1月30日開催)
 《令和2年度》
 ・電柱移設(カラーポール化)3本・照明設置(電柱共架)5基
 ・デザインマンホール蓋設置10箇所
 《令和3年度》
 ・側溝整備
 《令和4年度》
 ・側溝整備
 《令和5年度》
 ・側溝整備
 事業の実施により道路景観の改善及び歩行空間の創出が図られた。
 事業を継続しており、道路景観の改善及び歩行空間の創出を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
17 吉久地区道路修景整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和5年度～令和9年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
計画に記載している内容	高岡市吉久重要伝統的建造物群保存地区において、側溝整備やアスファルト舗装のカラー化などの道路修景整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度は、以下のとおり事業を実施した。

- ・測量設計業務委託
- ・電柱移設工事
- ・側溝整備

・当該事業によって、道路景観の改善が図られるとともに、歴史に触れながら安心して散歩できる快適な歩行空間の創出にもつながると考えられる。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

吉久伝統的建造物群保存地区(整備前)



側溝整備



修景整備イメージ



評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
18 町並み保存・都市景観形成補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成21年度～
支援事業名	市単独事業、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容	景観形成重点地区等の区域内で景観づくり基準に適合し、景観形成に寄与する修景を行う者及び景観重要建造物又は景観重要樹木の保存又は管理を行う者に対して補助する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観形成重点地区等の区域内での修景事業に対する補助を行った。
 令和元年度:修景補助3件 令和2年度:修景補助0件
 令和3年度:修景補助0件 令和4年度:修景補助2件 令和5年度:修景補助2件
 県道岡・笹川線の道路修景整備が進められており、沿線住民の景観づくりへの機運の高まりによって修景補助の実績につながった。
 互いの取り組みにより、良好な景観形成が図られている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

旧北陸街道福岡景観形成重点地区の修景事例



修景前



修景後

当該景観形成重点地区の景観づくりの基準に沿って、既存住宅の外観改修工事に対し助成を行った。

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
19 「赤レンガ建物」利活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和2年度～令和12年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(重要伝統的建造物群保存地区保存等事業費国庫補助)
計画に記載している内容	山町筋重要伝統的建造物群保存地区にある旧高岡共立銀行について、伝統的建造物として調査等を行い、保存及び活用を図るもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年4月～ 事業者へのサウンディング調査
 令和5年9月 一般公開

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和4年度に実施した官民連携手法導入可能性調査を踏まえ、利活用の可能性のある事業者への調査を実施している。

状況を示す写真や資料等

【赤レンガの建物外観】



【赤レンガの建物内観】



令和5年9月16日 一般公開時の様子



【一般公開日時及び参加人数】

日時	参加人数	備考
9/16 10:00～16:00	約400名	

評価軸③-20 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
20 前田家関連史跡調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(埋蔵文化財緊急調査費国庫補助)		
計画に記載している内容	守山城跡の史跡範囲の確認等を目的とした詳細調査を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
定性的評価: 守山城跡の調査によって地域資源の発見に寄与した。 令和6年度末刊行予定の『守山城跡詳細調査概報4』に一連の情報を掲載予定。 令和5年度 ①史料調査 ②現地調査 ③守山城跡の関連城郭(宮崎城跡)の調査			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
守山城跡の縄張調査の様子		守山城跡の関連城郭(宮崎城跡)の調査の様子	
			

評価軸③-21 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
21 ミラレ金屋町開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～(ミラレ金屋町開催事業)		
支援事業名	市補助事業		
計画に記載している内容	高岡 鑄物発祥の地であり、伝統的な家並みが残る金屋町において、産官学が連携し、金屋町の魅力発信、移住・定住促進事業と、伝統文化やものづくり体験等を組み合わせた「ミラレ金屋町」を開催することにより、金屋町を拠点に、高岡市の中心市街地の賑わい創出を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
来場者に伝統的な町家や文化に触れる機会を提供することで、日本遺産にも登録された「高岡の町民文化」の魅力を広く発信した。また、昨年度に引き続き「工芸都市高岡の秋」として、高岡クラフト市場街などと連携を図り、同時期に開催することで、「ものづくりのまち高岡」の歴史的風致に深く関わる工芸の魅力に広く親しむ機会を提供した。 ・開催日 令和5年9月17日～18日 ・来場者数 18,200人 ・内容 町家や石畳通りを利用した工芸品の展示・販売 鑄物、ガラス等のワークショップ ガイドツアー 着物ファッションショー 他			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p style="text-align: center;">ミラレ金屋町 オープニング</p>		 <p style="text-align: center;">「工芸都市高岡の秋 2023」共通チラシ</p>	
 <p style="text-align: center;">ミラレ金屋町 着物ファッションショー</p>			

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
22 獅子舞大競演会開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	令和5年で48回の開催を迎えた獅子舞大競演会は、中心商店街全体で取り組んできた歴史あるイベントである。子どもから高齢者まで幅広い年齢層が長時間にわたって楽しめるイベントとして、市民の支持も高く、市外からも多くの方々が中心市街地を訪れており、春の一大イベントとして開催している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致の重要な要素であり、地域ごとに行われる伝統行事の獅子舞を、高岡の中心市街地で競演し、多くの人に見てもらう機会をつくることで継承につながった。
 なお、今年度は台湾獅子を含め4つの獅子舞団体を市内外から招いて開催した。(来場者数)18,000人
 今後においてもイベントをより良いものにできるよう検討してまいります。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業実施にあたっては参加者を含めた安全性を考慮した内容を引き続き検討していきたい。

状況を示す写真や資料等



台湾青山艋舺宮の演舞



佐加野獅子方若連中の演舞



東古新町獅子方保存会の演舞



生源寺獅子舞保存会の演舞

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
23 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容
 土蔵造りの伝渡欧的建造物が集積する山町筋で、街並みの紹介、観光産業の創出等を目的として各種イベントを開催している。
 ①高岡山町筋土蔵造りフェスタ(8月下旬)
 ②山町筋の天神様祭(1月下旬)
 ③山町筋のひなまつり(3月中旬)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要伝統的建造物群保存地区における土蔵造り建物を活用した各種イベントが行われ、来場者に高岡開町以来の伝統文化に触れる機会を提供するとともに、住民同士や来場者との交流による歴史的町並み保存への理解が深められた。

- ①高岡山町筋土蔵造りフェスタ(令和5年8月19日開催)
土蔵造りの建物のライトアップとクラシックカー展示、マルシェの開催など
- ②山町筋の天神様祭(令和6年1月20日、21日開催)
山町筋の商家に伝わる天神様を土蔵造りの建物で展示、講演会など
- ③山町筋のひなまつり(令和6年3月16日、17日開催)
山町筋の商家に伝わるお雛様を土蔵造りの建物で展示、講演会など

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

山町筋土蔵造りフェスタ



天神様祭



ひなまつり



評価軸③-24 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
24 「高岡再発見」プログラム事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	高岡市内の小学校、義務教育学校、特別支援学校に在籍している1～4年生の児童が、家族といっしょにスタンプラリー形式で歴史の薫る町並みや建造物、祭りを見学・体験する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成24年からスタートしていた「高岡再発見プログラム」では、施設で何を学べばいいかわからず、景品やスタンプのみを目的とする人が多かった。このため、高岡の歴史文化の中から1つテーマ選んで紹介し、歴史的背景や施設の見どころを盛り込み、小学生だけでなく大人も目的をもってスタンプラリーしてもらおうと、令和5年度から「高岡再発見プログラム たかおか『解体新書』」としてリニューアル実施した。 今年度は鑄物編として高岡の鑄物業の歴史を学べる内容とした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="193 976 778 1393"> </div> <div data-bbox="817 969 1396 1400"> </div> </div>			

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
25 新たな芸術・文化創造推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	文化創造都市高岡の実現に向けた4つの戦略(知る、創る、つなげる、伝える)に基づく事業を実施することにより、高岡のさらなる魅力の形成・発信につなげる

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市民一人ひとりが高岡の文化を知り、文化に親しむ機会を創出することにより、高岡のさらなる魅力の形成・発信に取り組んだ。
【実施内容】
 ・「市場街」の実施(来場者数:22,530人)
 クラフトの展示や販売、ワークショップなど、クラフトに関する総合的なイベントを開催。高岡市内の15の工場・工房でオープンファクトリーを実施したことで、イベントのメイン会場である山町筋エリアだけでなく、市内全域で「ものづくりのまち高岡」の魅力を発信することができた。
 ・文化創造都市高岡ウェブサイトの運営
 高岡市の文化に関するニュース記事を発信(R6. 3月末時点PV数 34,039)
 高岡で開催される展覧会やイベントを紹介するニュース記事や、高岡を拠点に活躍する「ヒト」に焦点を当てたインタビュー記事を掲載することで、文化創造都市高岡の周知に努めた。
 PV数はウェブサイト開設後の最高値となった。記事を更新した際に、FacebookやX(旧Twitter)でも投稿したことが、PV数の増加につながったと考えられる。
 ・文化創造都市高岡PRイベントの開催(ひなフェスin山町ヴァレー&サカサカ)
 幅広い世代に文化創造都市高岡の魅力を周知するため、音楽や茶道、クラフト等の文化を体験いただき、多様な文化を知ってもらう機会を創出するイベントを開催した。(来場者数:742人)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



市場街の開催



文化創造都市に関する情報発信
(ウェブサイト運営)



茶道奥千家淡交会総本部参事・高岡支部支部長の在田吉保さんのインタビューを公開しました。
2023.10.16 UP



評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
26 日本遺産魅力発信推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成27年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	本市の日本遺産のストーリー(「加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡-人、技、心-」及び「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」)を通して、歴史的魅力を溢れた文化財群の国内外に向けた普及啓発や情報発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化庁の日本遺産総括評価において高岡市が重点支援地域の選定を受けた。策定した「日本遺産を通じた地域活性化計画」(R3～5年度)に沿って事業を進めていく。特に、北部エリアの文化財の魅力発信に注力する。

【実施内容】

- ・吉久重伝建地区において富山大学と連携して住民を巻き込んだまちづくり会議を複数回実施(エリア内のサインの作成も実施)
- ・観光ボランティア養成講座で日本遺産ストーリーの講義を実施
- ・日本遺産ストーリーの始まりとなる高岡城跡のVRコンテンツの作成
- ・日本遺産フェスティバルin桑都八王子(11月)でPRブースを設置し、錫のアクセサリーづくり体験によるPRを実施した。
- ・高岡日本遺産給食を実施
- ・日本遺産の日イベント出展
- ・文化庁事業「るるぶ日本遺産」の制作に協力(R6.1発売)
- ・文化庁事業「日本遺産インバウンド促進に向けたプロモーション映像」の撮影に協力

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

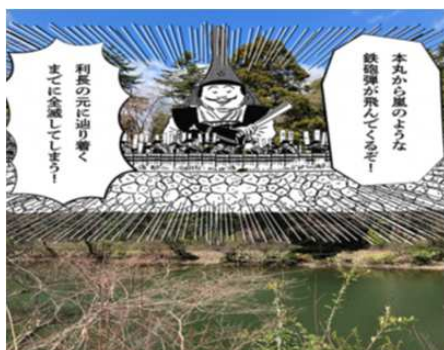
状況を示す写真や資料等



吉久重伝建地区まちづくり会議 サイン作成



日本遺産フェスティバルin桑都八王子 PRブース



高岡城ARコンテンツ制作



日本遺産インバウンド促進に向けたプロモーション映像

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
27 「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する作品募集事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 ユネスコの無形文化遺産に「高岡御車山祭」が登録されたことを契機に、5月1日を「高岡の歴史文化に親しむ日」とし、市内小・中・特別支援学校の児童生徒の郷土を愛する心を育む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内小・中・義務教育・特別支援学校の児童生徒が、俳句、短歌を作成する活動を通じ、高岡の歴史文化の魅力を見直し、豊かな感性と郷土愛を育むことにつながった。
 【定量的評価】校内選考を通過した優秀作品数として、俳句の応募件数:216点(前年度比:+4) 短歌の応募件数:11096点(前年度比:+14) 表彰数は、最優秀賞:各1点、優秀賞:各2点、佳作:各6点

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

令和5年度「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する応募作品 審査結果(入賞作品)

	結果	学校名	氏名	作品
俳句	最優秀	西条小	4 松井 侑都	やがえふを 親子でつなぐ 豆しぼり
	優秀	能町小	5 表野 慧	カーネーション 銅器の花びん 母を待つ
	優秀	伏木小	4 森本 結子	姉ちゃんは ひき子五月の けんか山
	佳作	野村小	6 木南 颯太	万葉線 一番乗りは 春の風
	佳作	伏木小	6 高寺 蒼平	ほろ武者の 大将ひげを かく五月
	佳作	伏木小	6 吉川 仁瑚	けんか山の かっちゃんとう隊の父
	佳作	高陵小	5 若野 祥子	青嵐 唐子くるりん 御車山
	佳作	古府小	4 吉岡 愛奈	けんか山 かけ声ひびく 薄曇の夜
	佳作	太田小	4 竹島 淳一郎	春びより 御車山の ひく音よ
短歌	最優秀	伏木中	1 小熊 琴央	本堂の 屋根を支える 猿たちが 海をながめて 待つ勝興寺
	優秀	高岡西郡中	3 上坂 梓生	タタラ踏む 鋳物師の思い 唄にのせ 友と弥栄節 息を合わせて
	優秀	福岡中	3 向 美優	一針と また一針と 縫ってゆく 福岡町に 管笠はあり
	佳作	南星中	3 大井 禮和	思い出は 祖父母と行った 瑞龍寺 桜の木々と 輝く笑顔
	佳作	高陵中	2 柳瀬 ひかる	ひっそりと 射水神社の 片隅に 春の訪れ かたかごの花
	佳作	牧野中	2 山本 菜月	立山を 背に輝けり 有磯海 私の心も 雨晴れるかな
	佳作	伏木中	1 木田 結希乃	友達と 御車山を追いかけし 暑さの中聞く 父の笛の音
	佳作	五位中	1 吉澤 裕晴	男衆 イヤサイヤサの かけ声で 町と人とを 一つにつなぐ
佳作	※まどろみ	1 沖 美築	五月晴れ 御車山が街を巡る 未来へ渉る記憶引き継ぐ	



評価軸③-29 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
29 越中国府関連遺跡調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(埋蔵文化財緊急調査費国庫補助)		
計画に記載している内容	越中国府関連遺跡における、古代・中世から近世に至るまでの重層する歴史の調査・研究を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
定性的評価:越中国府関連遺跡における調査・研究によって本市の歴史的風致の維持及び向上に寄与した。			
令和5年度 ①個人住宅等の開発における越中国府関連遺跡の試掘調査を行った。 ②企画展「越中国府に勤める人びと 一役人の一日」を万葉歴史館(R5.11.29～R6.4.22)埋蔵文化財センター(R6.4.29～)開催。 ③小松市で開催された全国国府サミットにおいて取り組み状況のプレゼンテーションを実施した。(R5.10.21～22)			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p style="text-align: center;">試掘調査の様子</p>		 <p style="text-align: center;">企画展展示</p>	
 <p style="text-align: center;">企画展パネル例</p>		 <p style="text-align: center;">全国国府サミットin小松</p>	

評価軸③-30



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
		項目	現在の状況
30 ストリート整備事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	たかおかストリート構想及び伏木地区ストリート構想で位置付けられているゾーンやルートを対象に、最新技術等を用いて、その地域の歴史や文化を体感できるような取組を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伏木地区でARを用いて歴史的名所を歩いて回る企画に取り組んだことにより、伏木地区の歴史的な魅力を体感できるとともに回遊性の向上につながっている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



けんか山 見どころAR MAP

評価軸③-31		評価対象年度	令和5年度
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		項目	現在の状況
31 どこでもステージ事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和3年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内の名勝、寺社、町並みなどの歴史・文化資産をステージに、市内アーティストによる伝統芸能や音楽、ダンスなどのパフォーマンス動画を制作。その動画のオンライン配信により、歴史都市・文化創造都市の魅力を発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的建造物や町並みを活用した文化・芸術のパフォーマンス映像の制作と動画サイトにおける発信により、本市の歴史的資産の新たな魅力を国内外に対して行っている。本事業により、「歴史都市高岡」の認知度がさらに向上し、市域全体の歴史的風致の維持及び向上に寄与した。			
○令和5年度制作動画(本編及びダイジェスト版の2本作成) 《動画の内容》 岸渡川での雅楽 総再生回数 1,387回(令和6年3月末時点)			
○公開中の動画(R3-R4制作) 《動画の内容》 ①勝興寺での洋舞と箏曲の共演 ②金屋町での民踊と民謡の共演 ③瑞龍寺・雨晴海岸での日舞 ④山町筋(土蔵造りの町並み)での合唱 ⑤二上山での尺八と華道の共演			
全作品の総再生回数 14,436回(令和6年3月末現在) (うち令和5年度中の再生回数 4,056回)			
《公開・配信サイト》 YouTube文化創造都市高岡公式チャンネル			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
岸渡川での雅楽			
			
			

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
1 文化財の保存・活用の現況と今後の具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	保存や活用に関する具体的な整備に実施については、専門家や関係機関に意見を聞きながら計画的に進めていくものとしている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>保存や活用に関する具体的な整備や実施にあたっては専門家や関係機関と緊密に連携しながらの取組を進めている。重要有形民俗文化財高岡御車山の修理にあたって、祭礼行事で使用する用具としての側面だけではなく、高岡の技術の粋を結集した美術工芸品的側面についてどのように修理方針を決定・管理するかについての専門家の意見を伺いながら総合的に判断している。また、重要伝統的建造物群保存地区保存修理にあっても文化庁・富山県と緊密に連携しながらの修理・修景方針を決定するとともに専門家の意見を伺いながら実施するなど、事業実施を通してノウハウの蓄積に努めている。</p> <p>また、民間事業者等との協定の締結により、地域に眠っている解読されていない資料の調査・収集・研究に取り組んでいくこととしている。</p> <p>なお、令和5年度の事業内容は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高岡御車山保存修理事業(P5参照) ・次世代型ものづくり人材育成事業(P7参照) ・文化財等修理補助事業(P9参照) ・コミュニティ助成事業(P12参照) ・金屋鑄物師町交流館整備事業(P15参照) ・勝興寺公開活用事業(P17参照) ・「赤レンガ建物」利活用事業(P22参照) ・獅子舞大競演会開催事業(P25参照) ・菅笠保全対策事業(P6参照) ・創業・事業承継支援補助事業(P8参照) ・ものづくり・デザイン科推進事業(P10参照) ・前田利長墓所整備事業(P13参照) ・高岡城跡保存整備事業(P16参照) ・重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業(P18参照) ・前田家関連史跡調査事業(P23参照) ・越中国府関連遺跡調査事業(P31参照) 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
高岡御車山保存修理事業		菅笠保全対策事業	
			
次世代型ものづくり人材育成事業		文化財等修理補助事業	

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
	現在の状況	
2 文化財の修理(整備)に関する具体的な計画	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 登録有形文化財(建造物)及び未指定建造物のうち歴史的風致の維持に資するものである場合、歴史的風致形成建造物に指定したうえ、保存修理や美装化等に要する費用に対する各種補助制度を積極的に活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物の指定は令和5年度時点で9件あり、必要な修理(整備)を施し、歴史的風致の維持に寄与している。
・市内町家等再生事業(P14参照)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



五福町神明社本殿



大手町神明社拝殿



旧秋元家住宅



佐野家住宅(主屋・茶室・1番の蔵・2番の蔵・調度蔵・味噌蔵・防火壁)



若井家住宅主屋(旧中越銀行)



高岡商工会議所伏木支所(旧伏木銀行)



有藤家住宅



旧伏木測候所



丸谷家住宅主屋・土蔵(旧津野家住宅)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
3 文化財の保存・活用を行うための施設に関する具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物に指定した施設に対し、公開活用を図るとともに、ガイドンス等の情報発信の機会を提供するよう取組を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物の指定にあたっては10年以上公開(外観:常時/内部:随時)することを条件としており、令和5年度時点では、9件が指定されている。
 なお、公共施設の歴史的風致形成建造物(旧秋元家住宅・旧伏木測候所)についてはガイドンス機能を有して情報発信に努めている。ストリート整備事業において、伏木気象資料館・伏木北前船資料館では、単なる解説だけでなく現地のGPSと連動したまちあるきによって波及的に興味・関心を高める工夫をこらしている。また、歴史的風致形成建造物に指定している佐野家住宅は現在レストランとして活用されている。
 令和5年度は以下の事業をととして、歴史的風致形成建造物の公開・活用に努めている。
 ・「高岡再発見」プログラム事業(P27参照)
 ・ストリート整備事業(P32参照)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「高岡再発見」プログラム事業



ストリート整備事業

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
4 文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容	・景観法、都市計画法及び市条例等と連動し、良好な景観の形成に努める。 ・「たかおかストリート構想」と「伏木地区ストリート構想」を策定しており、今後も取組を進めていく。 ・高岡市新サイン計画に基づき必要に応じて整備を進める。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財をとりまく周辺環境の保全は、該当の文化財の価値や魅力に影響する重要な要素であり、景観法・都市計画法及び市条例に基づき屋外広告物の適正化や伝統的な形式を持つ建造物等の規制・誘導による保全を図るとともに、道路の美化や街路灯の整備といった周辺環境の整備を推進している。県道岡・笹川線道路整備事業では、県と協働で旧北陸街道沿いの町並みにあうよう電柱と照明施設の修景化や側溝改修、消雪配管リフレッシュ工事を進めている。勝興寺寺内町道路修景整備事業では、旧参道を中心とした道路修景事業として、電柱移設(カラーポール化)、町並みにあった照明設置、デザインマンホール蓋設置、側溝整備を行い重要文化財勝興寺のある寺内町の良好な景観の形成を図った。

令和5年度は、以下の事業を実施し、良好な景観の形成に寄与した。

- ・県道岡笹川線道路整備事業(P19参照)
- ・勝興寺寺内町道路修景整備事業(P20参照)
- ・町並み保存・都市景観形成補助事業(P21参照)
- ・ストリート整備事業(P32参照)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



県道岡・笹川線道路整備事業



勝興寺寺内町道路修景整備事業

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
5 文化財の防災に関する具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

文化財の現状に鑑み、その文化財の性質に応じた防災に関する事項を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

災害による文化財の損失に対して、訓練のみならず防災対策の徹底に努めることが被害を生み出さないこと及び被害を最小限に抑えることにつながるものであるという意識のもと、その文化財の性質に応じた防災機能の向上に努めている。毎年1月26日の文化財防火デーを中心として本市においても各建造物等を対象として防災訓練を実施している。

令和5年度は以下の事業の実施を通して、その文化財の性質に応じた防災機能の向上に努めており、広く防災意識の高揚に寄与を目的とする。

【第5章関係】

・文化財防火デー特別消防訓練の実施(令和6年1月)

実施文化財等

国宝 瑞龍寺、勝興寺

重要文化財 氣多神社、武田家住宅、佐伯家住宅

市指定文化財 戸出御旅屋の門

重要伝統的建造物群保存地区 3地区(山町筋、金屋町、吉久)

【第6章関係】

・重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業(P18参照)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



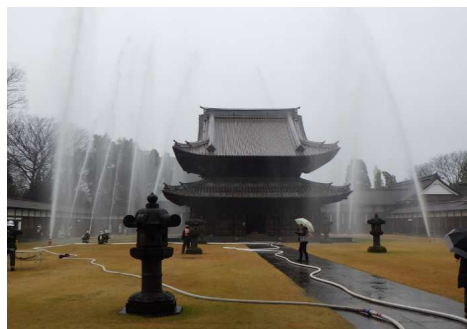
吉久



勝興寺



戸出御旅屋の門



瑞龍寺

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
		現在の状況
6 文化財の普及・啓発に関する具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

文化財の保存を前提とし生きた歴史を体験できるプログラムの構築を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物の公開・活用のみならず、文化財の公開による普及・啓発にあたっては、本市固有の祭礼行事などの機会に合わせた情報発信の充実に努めている。学校における郷土学習の時間等を利用して、地域の歴史や自然環境・文化財・景観等について幅広い視点で学ぶ機会の創出に努めているとともに、あらゆる世代の市民に対し、祭礼行事等への参加機会の提供に努め、まちの関心や愛着を豊かに育んでいくことを目指している。

令和5年度は以下の事業を通して文化財に関する様々なテーマを生涯学習の場で市民が気軽に学べる機会の提供に寄与している。例えば、御車山祭の開催される5月1日を「高岡の歴史文化に親しむ日」とし、市立学校を休業として地域祭礼に触れ合う機会を提供したり併せて歴史文化に関する俳句・短歌の作品募集・表彰を実施した。このほか、「高岡再発見プログラム たかおか『解体新書』」毎年テーマを絞り、より詳しく解説することによって歴史的建造物等を巡るスタンプラリーに厚みをもたせた工夫を新たに始めた。

- ・祭行事・イベント振興事業(P11参照)
- ・ミラレ金屋町開催事業(P24参照)
- ・獅子舞大競演会開催事業(P25参照)
- ・土蔵造りのある山町筋イベント助成事業(P26参照)
- ・「高岡再発見」プログラム事業(P27参照)
- ・新たな芸術・文化創造推進事業(P28参照)
- ・日本遺産魅力発信推進事業(P29参照)
- ・「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する作品募集事業(P30参照)
- ・ストリート整備事業(P32参照)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



祭行事・イベント振興事業



日本遺産魅力発信推進事業

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
7 埋蔵文化財の取扱いに関する具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 埋蔵文化財包蔵地内における発掘調査の記録を報告書として刊行し、記録保存を行うとともに、調査成果や出土品等を高岡市埋蔵文化財センターで公開する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度は埋蔵文化財の取扱いに関して以下の事業を実施している。調査成果を報告書として刊行・記録保存するとともに高岡市埋蔵文化財センター常設展「発掘された高岡」で公開・活用に供している。また、企画展「越中国府に勤める人びと 一役人の一日」を万葉歴史館(R5.11.29~R6.4.22)埋蔵文化財センター(R6.4.29~)開催し、越中国府関連遺跡の発掘調査結果を広く周知している。

- ・前田利長墓所整備事業(P13参照)
- ・高岡城跡保存整備事業(P16参照)
- ・前田家関連史跡調査事業(P23参照)
- ・越中国府関連遺跡調査事業(P31参照)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



前田家関連史跡調査事業



越中国府関連遺跡調査事業

評価軸④-8

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
		現在の状況
8 各種団体の状況及び今後の体制整備の具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 ・市民有志や文化財の保存団体による、文化財の保存活用に関わる取組を支援する。
 ・市民や専門家、行政の協働による検討の場が設置されることが望ましい。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

官民が連携した文化財の保存・活用において、特に未指定文化財については、市民の意見や発想のもと、市民が主体となってその保存と管理にあたっていくことが望ましく、市域全体に広がりを見せる関連文化財群の特性を踏まえ、その仕組みづくりのための支援充実を図っている。重伝建地区に選定されている吉久地区ではNPO法人主催のもとワークショップが行われ地域住民主体の保存・活用に関する意識の醸成が図られている。

令和5年度は以下の事業を実施し、市民有志や文化財の団体による、文化財の保存・活用に関わる取組み支援の充実を図った。

- ・ミラレ金屋町開催事業(P24参照)
- ・獅子舞大競演会開催事業(P25参照)
- ・土蔵造りのある山町筋イベント助成事業(P26参照)
- ・新たな芸術・文化創造推進事業(P28参照)
- ・日本遺産魅力発信推進事業(P29参照)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



ミラレ金屋町開催事業



獅子舞大競演会開催事業

評価軸⑤ 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル	年月日	評価対象年度 令和5年度 掲載紙等
福岡伝統の雅楽を撮影	R5.4.3	富山新聞
家持の遺徳しのぶ	R5.4.16	北日本新聞
装い新たに 安寧祈る 氣多神社春季例大祭	R5.4.19	北日本新聞
勇壮獅子舞4年ぶり 高岡上二上	R5.4.23	北日本新聞
築山行事豊穰願う 高岡・二上射水神社	R5.4.24	富山新聞
子ども巫女に晴れ舞台 高岡御車山祭・宵祭	R5.5.1	富山新聞
勝興寺に国宝指定書	R5.5.1	北日本新聞
高岡御車山祭 4年ぶり絢爛7基巡行	R5.5.2	富山新聞
台湾からも出演 特設会場で乱舞 高岡で大競演会	R5.5.4	富山新聞
鉄舟ゆかりの資料調査 国泰寺保管の位牌や書	R5.5.11	北日本新聞
5年ぶり町流し楽しみ 高岡御印祭 児童栄栄節稽古に励む	R5.5.18	北日本新聞
参加しやすさで盛況 週末開催2年目の伏木曳山祭	R5.5.21	富山新聞
祭人出 コロナ前に回復	R5.5.26	北日本新聞
早乙女姿で丁寧に 大伴神社献穀へ苗植え	R5.6.4	北日本新聞
高岡御印祭 鑄物発祥の地に活気	R5.6.20	北日本新聞
勝興寺参拝者4.7倍 国宝効果、半年で3万5000人	R5.7.12	富山新聞
本堂に技術の粋 勝興寺、国宝記念シンポ	R5.7.29	富山新聞
大工道具、和金物を展示 高岡・土蔵造り資料館を改装	R5.8.10	富山新聞
ドローンで伝統工芸学ぶ コースに銅器や菅笠設置	R5.8.23	北日本新聞
伝統の魅力に触れ 「工芸都市高岡の秋」開幕	R5.9.17	富山新聞
高岡古城公園樹木伐採へ 市が整備寄付募る	R5.9.28	読売新聞
古城公園景観再生CF 1カ月で目標達成	R5.10.5	富山新聞
高岡吉久で「さまのこアート」 町屋彩る作品満喫	R5.10.22	北日本新聞
市民一丸まちづくりを 高岡で北陸歴史サミット 5市長が意見交換	R5.11.1	富山新聞
高岡、金沢で国宝満喫 両市連携モニターツアー開始	R5.11.21	富山新聞
重伝建3地区連携を高岡歴まちフォーラム	R5.12.3	北日本新聞
勝興寺参拝者1.8倍国宝指定きょう1年	R5.12.12	富山新聞
高岡鑄物師、全国を市場に躍進技術	R6.3.16	富山新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>歴史的風致維持向上計画に係る各種報道等を通じて、市民自ら高岡の歴史を再認識し誇りと愛着を持っていこうとする機運が高まった。今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、祭礼行事をはじめとした人々の営みが再始動した。数年のブランクを乗り越え、伝統を再び繋ぐ意志が強く感じられた一年であった。また勝興寺の国宝指定を受け、今年度はこれまで磨きあげてきた歴史資産の「活用」が拡大し、歴史的風致維持のより一層の向上が図られた。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和5年度高岡市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時: <書面にて開催> 令和6年2月26日(月)~令和6年3月8日(金)	
<p>○高岡市歴史まちづくり計画の進行管理・評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1のp6「菅保全対策事業」について、菅田面積の減少に歯止めがかかっていない。今後の対応方針は。 ・資料1のp12「コミュニティ助成事業」について、地域固有の祭礼・年中行事を支えるコミュニティそのものを支援する事業であり、極めて重要な事業であると思う。その申請件数が伸びないとすれば、その辺りの検証が必要になるのではないか。 ・資料1のp15「金屋鋳物師交流館整備事業」について、伝統技術の継承等において重要である人材育成機能を担う「工房棟」を取りやめることは、当該施設全体のコンセプトにも大きく影響すると考える。 ・資料1のp25「ミラレ金屋町開催事業」について、鋳物師町交流館の整備に合わせて、この拠点をいかに活かしていくか、非日常的な使用になるが、是非、交流館の整備とソフト(どのように使っていくのか)を合わせて検討してほしい。 ・資料1のp23「赤レンガ建物利活用事業」について、民間活力の導入は重要だと考える。サウンディング調査の結果、利活用可能性がどの程度あるのか、可能であれば記載してほしい。 ・資料1のp28「高岡再発見プログラム事業」について、「高岡再発見プログラム」の参加者数は数値として示せるのではないか。また、次年度はどのような内容を計画しているのか示してほしい。 ・資料1のp33「ストリート整備事業」について、文化財の価値や魅力を発信する手段として、ARやVRIに対する期待は大きい。今回の取り組みをどれくらいの人が触れ、どのような感想があったのかを示してほしい。 <p>○令和6年能登半島地震による文化財の被害状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要伝統的建造物群保存地区三箇所や登録有形文化財建造物、及び県指定や市指定建造物の被害状況はどのようなものか。 ・歴史的風致の町並みを形成している住宅等に関する被害は把握されているか。 ・今回の地震災害に関しては、高岡市の文化財に関しては比較的軽微な被害状況であったことは幸いであった。高岡市としても近隣の地域に対する計画的なサポートを積極的に行うことが望まれる。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高岡の歴史的な魅力とは、長い歴史をもつ神社仏閣や歴史的な文化財だけでなく、ふつうの古い建物が多く残り、それが生活に関わっている点が挙げられると思う。特に、昭和の看板建築や、防災建築街区のような古いコンクリート造の建物など、またそれらが少しさびれた感じなども、高岡らしいものとして個人的にはとても魅力を感じる。再開発されて、他の都市と区別がつかなくなることなく、耐震上の問題などをクリアできる範囲で、昭和レトロな雰囲気をつかんでいってほしい。 	
<p>今後の対応方針</p> <p>○高岡市歴史まちづくり計画の進行管理・評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市においては、高岡市園芸作物拡大支援事業や国の産地交付金を活用し、スゲの生産に対する支援を行っているところであり、引き続き、支援を行ってまいりたい。 ・コミュニティ助成事業は、地域の文化・伝統行事の継承を支援するための助成制度であり、補助対象は地域の文化・伝統行事に使用する備品である。市HPで周知し、随時相談を受付けている。 ・金屋鋳物師町交流館については、当初の金屋鋳物師町工房(仮称)整備計画において、研修棟、工房棟、展示交流棟の全3棟を整備することとしており、令和2年度に研修棟が完成し、9月より供用を開始したところ。一方、工房棟や交流展示棟の整備については、計画策定時点から本市の財政状況や公共施設を取り巻く状況等が変化していることから、市内公共施設全体としての機能のバランスをより一層勘案する必要があり、このことを踏まえて地元と協議を重ねた結果、工房棟の建設を取りやめ、駐車場の整備に変更したものである。進行管理評価シートの記載事項については、頂いたご意見を踏まえ、適切に修正してまいります。 ・金屋鋳物師町交流館の完成後については、ご指摘にあるように「ミラレ金屋町」のようなイベントも含めて、地域の活性化に資する活用方法を地元住民とも協議しながら検討。 ・サウンディング調査の結果、宿泊、飲食などの複数の利活用の可能性が示された一方で、費用負担や経営面などにおける様々な課題があり、現時点で可能性がどの程度あるかを記載することは難しい状況である。民間活力導入の実現に向けて、引き続き、民間事業者との対話を重ねてまいりたいと考えている。 ・今年度再発見プログラムのリニューアルに合わせ、対象を市内小学生から一般の方まで拡大したところである。来年度は引き続き「高岡のものづくり」として高岡漆器や福岡の菅笠をテーマに考えている。 ・これまで配布したARマップの動画再生数は、延べ2038回である。今後も多くの方がARを用いて歴史文化に触れ、体感できるような取組みを続けていきたい。また、利用者の声が聴けるような仕組みづくりを考えていきたい。 	
<p>○令和6年能登半島地震による文化財の被害状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害状況の詳細については、令和6年3月時点において、市内3つの重要伝統的建造物群保存地区では合計で18件(国登録等重複含む)、国登録、県指定、市指定ではそれぞれ11件、1件、2件の建造物被害を確認している。 ・文化財として指定・選定・登録を受けている市内文化財建造物については、被害状況を把握しており、所有者から被害に関する連絡がなかった建造物についても外観確認を実施している。 ・国、県、被災自治体、市町村間連絡会議等からの協力依頼・要望等があれば、被害が甚大な自治体に対して必要な支援を行う所存である。 <p>○その他</p> <p>事務局: 現在の計画では、近世・近代を対象にしているが、昭和レトロな雰囲気などの高岡らしさを活用することは歴史まちづくりを進めるためには重要であると考えている。</p>	